

首都圏

つるおか会

会報 第27号

発行 首都圏鶴岡会



会長挨拶



会長 坂田 敬一

ここにちは。 首都圏鶴岡会会員の皆様、 こんにちは。 今日は会報のお届けが例年に比べ遅くなり、ご心配をおかけしたのではと思っていました。遅くなりましたのは、これまで総会を9月末頃に開催していましたが、昨年のアンケート結果を参考に、今年度は2月8日(土)に実施するためです。この日は鶴岡市の市政報告会と同日に隣の会場で開催することで、大勢の会員の皆様から足を運んでいただけたように計画しました。総会、市政報告会、そして、地酒とワインを楽しむ会を船堀のタワー ホールで予定しています。

今年のふるさと訪問ツアーや、8月10日(土)11日(日)の2日間、鶴岡を楽しみました。今回は鶴岡駅集合・解散という日程で14名の会員の皆様が参加し、致道博物館見学後に早めの夕食、その後、庄銀タクト鶴岡で国的重要無形民俗文化財である黒川能を堪能しました。

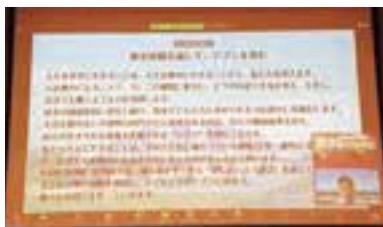
500年以上にわたり黒川地区の皆さんのが独自に伝承をしてきたことに庄内人の粘り強さ、勤勉さを実感しました。

宿泊は湯の瀬旅館。初めて訪れたブール程の大浴場を持つ宿。夜はよくわからなかつたのですが、朝湯をしたところ十分泳げる広さでした。2日目はサムライシルクの松ヶ岡開墾場へ。昼食は隣のピノコツリーナ。ワイン畑を眺めながらの食事や初めて訪れた所、そして文化を楽しんだ2日間でした。

先日、NHKで庄農うどんの紹介がありました。高校生がつくるうどんを地域の飲食店で提供。「麺がモチモチしている」「歯応えと喉越しが良い」と評判、「売り切れ」となる店が続出。庄内農業高校の生徒たちの笑顔が浮かぶようですね。是非、東京でも食べてみたいものです。

現在、会員の皆様には年1回の会報の他に鶴岡市東京事務所の石川所長より「鶴岡耳より情報」がメール配信されています。配信希望の方は鶴岡市東京事務所までご連絡をお願いいたします。

今年度の首都圏鶴岡会の懇親会は市政報告会の第二部「地酒とワインを楽しむ会」に相乗りという形で実施いたしました。鶴岡の地酒とワインで庄内弁を交え、なつかしい語らいの場があります。皆さん是非お知り合いをお誘いの上、お待ちしています。



4年ぶり!

笑顔で仲間と楽しく宴会!

● 第27回首都圏鶴岡会の実行委員長を務めました坂田俊次です。昨年の総会はコロナ明け初めて従来の食事をする形に戻って行わされました。コロナを心配しながらも実行委員会メンバーも「どうするや? 大丈夫がの?」等と悩みつつ実施した総会でしたが、予想以上に楽しい総会となりました。これも会員の皆様のあたたかな気持ちと鶴岡市東京事務所の皆様の献身的な力添えによるものと感謝しております。

講演会はオンラインで鶴岡と結び「スイデンテラス」「キッズドームソライ」などを手掛ける株式会社 SHONAI(旧ヤマガタデザイン株式会社) 代表取締役山中大介様に講演をお願い致しました。1985年東京生まれで鶴岡とは全く関係のない地域から鶴岡に飛び込んできて事業を開いている山中さんは、鶴岡がどう見えているのか興味津々の中が始まりました。これまでに、鶴岡で行ってきた事業の説明とその背後に

ある想いを様々な資料を用いて熱心に話す姿に参加者は引き込まれていきました。

庄内地方で行っている事が日本の中での地方から発信するロールモデルになることを目指しているという。質問も多く出され、時間切れで質問を途中で終わらなければならぬ事に会場から「続ける」との声も。

今回、初めて会場にて総会出席者にアンケートを実施いたしました。参加者年齢は70代が1番多く38%を占め、次いで80代が26%であり高齢者が多い状況。しかしながらSNSを使っている割合は87%と、情報をしっかりと把握している参加者であることがわかりました。オンラインでの講演に対しては問題なしという人と来場して話す方が良いという人が半々の状況。講演の内容については90%の人人が良いと答えていました。イベントとして実施した抽選会や「化け物」がお酒を振る舞う事は好評で、継続を希望している人が96%と圧倒的でした。

今年度は、意見を踏まえて更に有意義で楽しい総会となるように企画をしておりますので是非鶴岡ファンをお誘いの上参加をお願い致します。



実行委員長
坂田 俊次



※写真提供：首都圏鶴岡会 渡邊春信氏



ミニ天神祭



知覧特攻平和会館



南洲翁開墾地遺跡碑



鹿児島市長 表敬訪問



仙巖園で昼食



西郷南洲顕彰館

ふるさと訪問ツアー

兄弟盟約都市
鹿児島市

鹿児島編

昨秋11月。首都圏鶴岡会主催の鹿児島訪問ツアーに参加した。総勢21人。高校の先輩・同期・後輩がおられ、終始和やかな楽しい旅だった。

鹿児島は、私にとつて特別な思いのある早く訪れたいと願っていた地であり、また郷里鶴岡とゆかりの深い西郷隆盛／南洲翁の郷里である。桜島を望む鹿児島の街はどうりとした雰囲気があった。西郷終焉の洞窟の前を通り、大きな庄内柿の木が植えられた「南洲墓地と南洲翁記念館」に到着。そこには西郷隆盛を慕い、その傍で学びたいと熱望し、遠い鶴岡から派遣された伴兼之と榎原政治が眠っている。

私の旧姓は「榎原」だが、家系的に少し関係があるらしい。

2人は1877年の西南戦争に自ら志願し、共に20歳・18歳の若さで戦死した。146年を経て尚、その名がくつきりと刻まれた2人の墓は、上方にある西郷さんの墓を仰ぐように佇んでいた。私は「やつと、来ましたよ」と二人の青年に深い哀悼の意を込めて手を合わせた。私の願いが叶つた旅だつた。

昨秋11月。首都圏鶴岡会主催の鹿児島訪問ツアーに参加した。総勢21人。高校の先輩・同期・後輩がおられ、終始和やかな楽しい旅だった。

鹿児島は、私にとつて特別な思いのある早く訪れたいと願っていた地であり、また郷里鶴岡とゆかりの深い西郷隆盛／南洲翁の郷里である。桜島を望む鹿児島の街はどうりとした雰囲気があった。西郷終焉の洞窟の前を通り、大きな庄内柿の木が植えられた「南洲墓地と南洲翁記念館」に到着。そこには西郷隆盛を慕い、その傍で学びたいと熱望し、遠い鶴岡から派遣された伴兼之と榎原政治が眠っている。

私の旧姓は「榎原」だが、家系的に少し関係があるらしい。

2人は1877年の西南戦争に自ら志願し、共に20歳・18歳の若さで戦死した。146年を経て尚、その名がくつきりと刻まれた2人の墓は、上方にある西郷さんの墓を仰ぐように佇んでいた。私は「やつと、来ましたよ」と二人の青年に深い哀悼の意を込めて手を合わせた。私の願いが叶つた旅だつた。

『鹿児島訪問ツアーに参加して』

● 松島 邦さん

出身：鶴岡市上畠町
在住：東京都品川区

● 佐藤 茂吉さん

出身：鶴岡市加茂
在住：東京都東大和市

『鹿児島訪問ツアー体験記』

自分にとつて今回のツアー参加は、高校卒業後初めて多くの庄内出身の方々とご一緒に旅した。楽しく有意義なものでした。

1日目の南洲墓地では、西郷隆盛を慕つて私学校に入り薩軍として戦い亡くなつた二人の庄内藩士のお墓をお参りしました。

ツアーパーティー参加者でその藩士の一人と血縁関係のある方と一緒にお参りしたことは、歴史に疎い自分にとつても感慨深いものがありました。

その後部屋での2次会も一層楽しいものになつたと思います。

2日目の知覧特攻平和会館では戦争の虚しさを改めて強く感じました。

移動中には桜島と開聞岳の景観にも感動した思い出に残る2日間の旅でした。



第28回 首都圏鶴岡会総会のご案内

日 時：令和7年2月8日(土) 15時～

場 所：タワーホール船堀 (都営新宿線船堀駅すぐ)

会 費：1,000円 《参加された方へお土産もございます》

※総会終了後、15時40分～「鶴岡市市政報告会＆地酒とワインを楽しむ会」を隣の会場で開催します(内容等はP8をご覧ください)。ご友人にお声掛けいただき、多くの方からご参加いただきますようお願いします。

第28回首都圏鶴岡会総会、実行委員会の佐藤聰と申します。高校の関東支部の同窓会がきっかけで、首都圏鶴岡会の活動を知り、行事等に参加するようになりました。理事を拝命してから数年経ちますが、鶴岡市出身者だけでなく、庄内管内の各ふるさと会や、山形県出身者、関係者等の方々と東京でお会いする機会が増えたことを嬉しく思っています。

昨年、総会の副実行委員長だったこともあり、今回、実行委員長に就任しました。実行委員会の方々と協力し合い、ぜひとも総会を盛り上げ、成功させることで頑張りますのでよろしくお願いします。

さて、今年度の首都圏鶴岡会総会は、例年の総会とは趣向が違います。コロナ禍を除き、例年の総会では、一部が鶴岡市関係者等の講演、二部が事業計画と会計監査後に懇親会という流れでした。



佐藤 聰
総会実行委員長

しかし今回は、前半が首都圏鶴岡会総会、後半は鶴岡市長がお見えになつての鶴岡市市政報告会、その後、地酒とワインを楽しむ会と銘打つての懇親会となります。そこで、連携を取りながらスムーズな進行に努めたいと思います。

地酒とワインを楽しむ会では、食事と寒鱈汁(どんがら汁)が提供されると聞いていますので、鶴岡市の懐かしい味覚をご堪能ください。また、アトラクションとして、首都圏鶴岡会の理事が中心となり、鶴岡天神祭で恒例の化けものによる地酒の振る舞いや、鶴岡市管内各ふるさと会の提供品が当たる抽選会など楽しい企画が盛りだくさんです。

さらに、首都圏鶴岡会総会に参加された会員の皆様には、ふるさと鶴岡に因んだお土産を別途ご用意しています。現在、実行委員で思案、検討中ですので楽しみにしていてください。

開催日までもうしばらく時間があります。が、盛会となるよう実行委員で準備を進めて参ります。それでは皆様、当日元気に会場でお会いしましょう。

東京鶴翔同窓会 (旧山形県立鶴岡南高等学校)

事務局 〒116-0011 東京都荒川区西尾久5-7-25
TEL・FAX 03-3893-9876 (岡部方)
同窓会HPはこちら→ [http://www.tohoku-sho.com](#)

山形県立鶴岡中央高等学校 黎明同窓会関東支部

事務局 〒165-0025 東京都中野区沼袋1-41-2
TEL・FAX 03-3389-1894 (齋藤方)

東京如松会

(旧山形県立鶴岡北高等学校)
事務局 〒164-0014 東京都中野区南台2-52-5
ソレイユ南台902 江達方 油井智子
TEL 03-3382-8839

山形県立鶴岡工業高等学校 城畔同窓会関東総支部

事務局 〒314-0047 茨城県鹿嶋市須賀 1249-23
TEL: 090-4725-0711

庄内の地魚・旬の食材たっぷりの蒲鉾

滝川かまぼこ店

㈲竜泉・滝川
〒997-0034 鶴岡市本町1丁目8-27
TEL 0235-22-0281

since1877
佐徳
satzoku

つや姫むすび
997-0011 山形県鶴岡市宝田 2-9-79
TEL 0235-24-1180

「左近川親水緑道」を歩いてみました

前号につづき3回目となる江戸川遊歩は、東京メトロ東西線葛西駅から徒歩10分程の「左近川親水緑道」を散策してきました。

まだまだ酷暑の真っ盛りだった九月。葛

西駅から環七通りを南に向かって歩き始めた途端、さあ、と涼しい風が吹いて来ました！ 東京湾から葛西臨海公園を吹き抜け

て来る風でした。ああ、この辺は僅か4、50年前は蓮田や江戸前海苔業だったのかと、

昨年の会報の堀正俊氏の寄稿文を思い出しました。

10分程で左近川親水緑道へ。何と！ 葦の生い茂る川面も両岸に咲く草花も木の橋も昭和のまんま！ 鴨の親子やギンヤンマも。自然豊かな昭和の鶴岡で生まれた会報委員達は一気に子供時代にタイムスリップ。

海岸水門の上を渡った途端に世界は21世紀!! 緑道も名前が新左近川親水公園に。ドーンと川幅も広くなり、カヌーやディキヤンプ、バーべキュー、ドッグランが自由に出来るところ！！

左近川の名前の由来はやはりお江戸の時代に遡る。左近衛将監とのこと。江戸文化はやはり下町が発祥と実感しました。

会報編集委員 伊藤・坂田・櫻井

こぼれ話 「人情の厚い葛西地区」

●堀 正俊さん

出身：鶴岡市外内島
在住：千葉県佐倉市

40数年前、葛西地区は家長制度が強く習慣や風習を重んじ情に厚い所だった。

初めて上司と農家の豪門を潜った時、手入れの届いた植木に大きな庭、裏門を抜けると広大な「摘まみ菜畠」に家族総出の姿。家長に呼び寄せられ、時間を気にしながら手伝うこと約2時間。作業を終えると冷たいから飲みなど、ヤカンの水を湯呑みに注いでくれた。なんとお酒。穏やかな日和の中で上司は旨そうに呑んでいたが私は下戸で、帰りは上司の飲酒運転で帰店。翌日、お礼に5万円弱の薄給の中からお酒を買い持参したら、お手当少ないのに！と喜んでくれた。

昔の葛西は「よそ者」が家人の許可なく玄関に入ることはご法度のようだったが、以後、私は無断訪問を許された。今も「葛西村人の優しさ」が懐かしい。



会員のひろば

60歳から植木屋です。18歳まで狩川に。小さい頃はばんばに育てられました。昭和のばんばと家の思い出です。皆さんもあるあるかな。
〔ばんば〕
米俵60kgほど60歳まで担いで運んでだ。孫のマナグさごミ入つて口どごマナグさ入れで取たけ。小便是後ろさ飛ばすけ。モンペごまくつての。孫どご使うけ。手が痒くなんなさ里芋洗わせつけ。泣いでも駄目だけ。夜タニシどごしょんごさせつけ。ねぶつけの。キセルの吸い殻どご手のひらさポンとすつけちや。

【家の造り】

便所は外で夜はおつけ。ななちやさ懐中電灯持だせで。玄関さ木桶あてのそごさ男しよは小便しきら入つけ。風呂場は壁ねぐ台所の隅で丸見えだけ。

(注: ばんば→おばあさん
ななちゃん→おかあさん)

60歳のイワナをゲット! (写真下)
セシスいいです。茂吉君、
このいる山奥も怖くない?
もちろん52回の実行委員にも
なつてもらいました。

60歳から植木屋です。18歳まで狩川に。小さい頃はばんばに育てられました。昭和のばんばと家の思い出です。皆さんもあるあるかな。
〔ばんば〕
米俵60kgほど60歳まで担いで運んでだ。孫のマナグさごミ入つて口どごマナグさ入れで取たけ。小便是後ろさ飛ばすけ。モンペごまくつての。孫どご使うけ。手が痒くなんなさ里芋洗わせつけ。泣いでも駄目だけ。夜タニシどごしょんごさせつけ。ねぶつけの。キセルの吸い殻どご手のひらさポンとすつけちや。

【家の造り】

便所は外で夜はおつけ。なな

私は東京鶴翔同窓会で平成23年41回総会実行委員になつた時から会報のデザインを担当しておられます。

私の趣味は渓流釣りです。

平成30年のお盆に鶴岡で還暦記念のクラス会があり、三次会は約35年ぶりの佐藤茂吉君と二人きりに。酔った勢いでフライフィッシング(西洋毛鉤釣り)をやる気はないか?と問うと、是非やりたい!と。感激です。

私は東京の音楽大学を卒業後、神奈川県平塚市の中学校音楽教師を経て校長、教育委員会にお世話をになりました。

現在は子供達や還暦を迎えた教え子達と共に楽しく合唱している。

最近東京鶴翔同窓会や首都圏鶴岡会より指揮や演奏依頼があり、懐かしい故郷の皆様にお会いする機会が増え嬉しい限りである。

実家が羽黒山入口にあつたので、幼少期は毎日のように随神門や五重塔の周りで友達とチャンバラ、秋川ではカジ力をとり遊んでいた。

T V 等で羽黒山五重塔や月山等の勇姿を拝見するたびに昔の思い出が蘇り、懐かしさのあまり涙を流す今日この頃である。

●今野 りつさん

出身..庄内町
在住..東京都世田谷区



●佐藤 雄喜さん

出身..鶴岡市三瀬
在住..東京都江戸川区



●神林 茂さん

出身..鶴岡市羽黒町
在住..神奈川県平塚市



●今野 りつさん

出身..庄内町
在住..東京都世田谷区



莊内銀行

東京支店(中央区日本橋室町)

地元企業エル・サングループ お気軽にお問い合わせください!

葬祭会館 アク・サン
ご葬儀 事前相談 承っております。

アク・サン 鶴岡・本町・大山・余目・あつみ
HP:<http://www.aqsun.jp> TEL.0120-91-5002

総合保険事務所 オフィス勝どき

代表 大泉 正 (日本FP協会会員、相続診断士)
取扱保険会社 メットライフ生命・東京海上日動
〒104-0053 東京都中央区晴海5-5-3-505
TEL 03-6228-2214 FAX 03-6734-1163
フリーフォン 0800-080-1208
Eメール oizumi.masashi@mt-kachidoki.jp

〔電気とエアコン、困ったときお電話下さい。〕

株式会社 **ホコマ電機**

取締役会長 本間俊三
〒252-0302 相模原市南区上鶴間1-12-1
TEL: 042-746-1616

鶴岡市友好都市 江戸川区のコミュニティ施設

ご宴会・レストラン グリーンパレス

〒132-0031 東京都江戸川区松島1-38-1
TEL 03-3651-2228
<http://www.greenpalace-matsuya.com>

第二のふるさとを大切にしています。 江戸川大山会

会長 長岡利夫

首都圏鶴岡会

新理事のご紹介

今後とも、よろしくお願ひいたします。

この4月から、首都圏鶴岡会の理事を務めさせていただいております。生まれは三川町の農家で、高校を卒業するまで暮らしていました。進学とともに上京、卒業して就職と、その間は都内で暮らしました。

その後、家族で夫の実家があります加茂に引っ越し、30年ほど鶴岡市民として子育て、地域活動に仕事にと忙ただしくも充実した生活を楽しみました。けれども、夫は先に逝き、子供達も各々の生活を始めましたので、親族の住む神奈川県へと引っ越しをいたしました。



理事の活動の様子（寒縞まつり）

東京鶴翔同窓会の御縁で首都圏鶴岡会の活動に参加させていただき、少しだけお役にたてるようがんばります。どうぞよろしくお願いします。

皆様と一緒に鶴岡、首都圏鶴岡会を盛り上げていけましたら幸いです。よろしくお願ひいた

この度首都圏鶴岡会の理事の仲間入りさせていただいた菊地健司と申します。東京出身の私が東洋大学2年生の時に鶴岡と出会つてから早いもので20年近く経とうとしています。当時、鶴岡市藤島地域への興味から授業を履修し、卒業までの3年間で10回以上訪問、卒業後も定期的に夏祭りや秋祭りに参加しているうちに鶴岡の魅力や人の温かさにどんどん惹かれいつたのだと感じています。

そのような経緯から2018年から2年半鶴岡に移住をしていました。移住を経験したこと

大山で生まれ育った祖母の影響で幼い頃から祖母の故郷のお米や野菜、漬物等を好み、部屋にはいづめこ人形や御殿まりなどがあり、鶴岡のものはいつも身近にあり、いつの間にか魅了され、興味や関心のきっかけ、より多くの方へ魅力を伝えたいという気持ちが強くなり、ミスなでしこ日本2021山形県代表として全国大会へ出場し、グランプリをいただき、任期中の

活動が評され、活動奨励賞受賞、昨年11月よりやまとがた特命観光・つや姫大使としても活動しています。ただ知っているではなく、深める為にも月に1回以上は山形県へ行き、お話を伺つたり、発信したいことを見つけ、地野菜を背負い帰つてきます。

お酒は20才になってから



●今井 妙さん

出身..三川町
在住..神奈川県横浜市



●菊地 健司さん

出身..東京都台東区
在住..東京都足立区



●茂木 彩乃さん

出身..神奈川県横浜市
在住..神奈川県横浜市



茨内日報 電子版

お申し込みは
こちらへ



シングルプラン(電子版のみ)
2,200円/月(税込)

※電子版のお支払いは
クレジットカード決済のみ TEL0235-22-1480

庄内の魅力を地域内外に発信します

Cradle

出羽庄内地域文化情報誌「クレードル」

TEL 0800-800-0806 (通話料無料・平日9:00~17:30)

カナエル大学、想像以上。

東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

経済・経営コース 政策コース 地域福祉コース

国際教養コース 観光・まちづくりコース メディア情報コース

出羽路庄内の名産品全国発送承ります

でんじや
鶴岡地区物産協同組合

理事長 滝川義朗



〒997-0028 山形県鶴岡市山王町3-14 TEL:0235-64-8701 FAX:0235-64-8702

富士酒造株式会社
Glorious Mt.Fuji!

TEL 0997-1124 山形県鶴岡市大山三丁目32番48号

FAX 0235-33-3200 支付時間 月~金 9:00~17:00 支付端末 24時間

<http://www.e-sakenom.com>



首都圏鶴岡会 会員募集中！

鶴岡駅



鶴岡が大好きな方、同郷の仲間と繋がりを深めたい方など、一緒にイベントを楽しむ仲間を募集しています。

■年会費:1,000円

■主な事業:ふるさと訪問ツアー、鶴岡市東京事務所の寒鱈まつり、庄内ふるさと会のだだちゃ豆会、江戸川区のお祭りへの参加など。

鶴岡寒鱈まつり

■開催日:令和7年2月2日(日)

■場所:江戸川区船堀TOKIビル前広場
(都営新宿線船堀駅南口下車徒歩1分)

おいしい鶴岡の郷土料理

「寒鱈汁(どんがら汁)」を
味わう人気イベント!

ぜひお越し
ください!!



鶴岡市東京事務所 職員紹介

今年度もよろしくお願ひいたします。お気軽にお越しください。



(所長)石川 聰



瀬尾 浩章



岩瀬 弘幸



大島 一晃



菅原 美佐子

会報編集委員

石川 康博
坂田 俊次

伊藤美津子
櫻井 孝子

大泉 正
富樫 嘉美

鶴岡市東京事務所 公式SNS

旬の情報を発信しています。
ぜひご活用ください！

[facebook]



[twitter]



山形県産内地方産
紅はるか
干し芋

まるいぬ品株式会社
販売時間 9:00~17:00(平日)
TEL 0120-54-3006

クラゲ展示種類数
世界一

鶴岡市立加茂水族館 Tel.0235-33-3036

JJA 鶴岡 ばばば

ご注文は
☎ 0235-29-9850
たたばら 検索

手造りの味
つけもの専 本長

〒997-1124
山形県鶴岡市本町1丁目
アリーデイキル 0120-330-878
FAX 0235-33-0878
<http://www.k-honcho.co.jp>

お問い合わせ

首都圏鶴岡会事務局

〒134-0088

東京都江戸川区西葛西7丁目28番7号
鶴岡市東京事務所内

T E L 03-5696-6821

F A X 03-5696-6822

E-Mail

tokyo@city.tsuruoka.yamagata.jp